

大室山 小室山

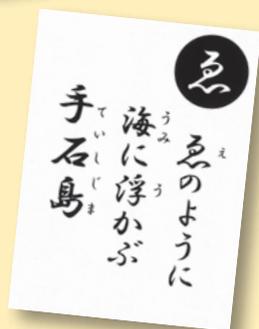
市議会だより



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

「伊東かるた」とめぐる

“伊東の魅力”再発見



手石島

伊東湾に浮かぶ手石島は周囲三五〇メートル程の無人島で、島には洞窟もあり頂上には弁財天が祀られていると言われています。平成元年七月に、この島の近くで海底火山の噴火があり、その火山は「手石海丘」と名付けられました。

「伊東かるた解説書より」

※伊東の自然・歴史・文化を題材にした「伊東かるた（第二版）」（伊東かるたの会制作）の中から「伊東の魅力再発見」をテーマに、編集委員が選んだお気に入りの札を写真とともにご紹介します。

主な内容

- 6月定例会の概要……………【P. 2】
- 市長に対する辞職勧告決議……………【P. 4】
- 百条委員会を設置……………【P. 4】
- 市長所信表明に対する質問……………【P. 6】
- 委員会だより……………【P. 12】



令和7年6月定例会

19件の議案等を審議、決定

6月定例会を6月16日から7月7日までの22日間の会期で開催しました

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市認第1号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正について、令和7年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第2号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正について、令和7年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第3号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法施行令及び国有資産等所在市町村交付金法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う条例改正について、令和7年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市報第1号	令和6年度伊東市一般会計予算繰越明許費繰越し報告について	令和7年3月定例会において議決された繰越明許費のうち、生活環境向上対策事業など、8事業、7億6,067万2,000円を令和6年度から令和7年度に繰り越したことの報告	市長	報告・質疑のみ
市報第2号	令和6年度伊東市競輪事業特別会計予算について弾力条項の適用に関する報告	令和6年度競輪事業特別会計において、車券売上げが好調に推移し、第12回市営競輪及び指定重勝式共同発売において勝者投票払戻金に予算不足額が生じたため、24億2,392万1,000円について地方自治法及び伊東市特別会計条例の規定に基づき、令和7年3月19日に弾力条項を適用したことの報告	市長	報告・質疑のみ
市報第3号	令和6年度伊東市下水道事業会計予算繰越し報告について	地方公営企業法の規定による建設改良費の繰越しで、2件の業務委託と、湯川中継ポンプ場自家発電設備改築工事など、5件の工事、1億458万円を令和6年度から令和7年度に繰り越したことの報告	市長	報告・質疑のみ
市報第4号	令和6年度伊東市一般会計予算事故繰越し報告について	まちなかにぎわい創出事業受託事業者が事業完了前に破産開始決定を受けたことにより、支出済分と合わせ出来高によって委託料を積算する必要があることから、支出未済分100万円を、また、商工業振興補助事業内の伊東ブランド創出事業受託者が、事業完了前に破産開始決定を受けたことにより、年度内の事業完了が見込めず、補助額が確定しないことから予算計上額の300万円を令和7年度に繰り越したことの報告	市長	報告・質疑のみ
市議第1号	伊東市職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例及び伊東市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律の施行に伴う改正で、超過勤務の免除対象を見直すとともに、仕事と介護の両立支援制度を利用しやすい勤務環境の整備等について規定するほか、所要の改正を行うもの	市長	全会一致で可決
市議第2号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、専決処分によることを要しない条項の改正で、総則については、公示送達についてインターネットを用いる方法に関する規定の整備、個人市民税については、所得控除における控除すべき金額について、特定親族特別控除額の追加等、軽自動車税については、職権による減免を可能とするための規定の整備、たばこ税については、加熱式たばこの課税方式の見直しに係る規定の整備の改正を行うもの	市長	全会一致で可決
市議第3号	伊東温泉観光・文化施設東海館条例の一部を改正する条例	指定管理者への委託に関し、完全利用料金制を導入するため、入館料及び貸出施設利用料の規定について改正するとともに、併せて減免基準に関する規定を設けるもの	市長	全会一致で可決
市議第4号	伊東市立小中学校GIGAスクール学習者用端末等購入契約の締結について	契約金額：1億7,277万5,460円 契約の相手方：西日本電信電話株式会社 静岡支店	市長	全会一致で可決
市議第5号	令和7年度伊東市一般会計補正予算（第1号）	令和6年度に実施された1人当たり所得税3万円、住民税1万円の定額減税及びその恩恵が十分に受けることができないと見込まれる所得水準の方に対する定額減税補足給付金の給付事業において、令和6年中の所得状況や世帯構成等の変動により、なお、補足給付金等に不足が生じた方に対する不足額給付金給付事業に係る経費、県の事業に合わせて実施する観光施設のバリアフリー化に対する補助金のほか、前市長、前両副市長及び前教育長の退職金、全国の自治体で判明した公用車のカーナビ等に係るNHK受信料未払い問題について、本市における令和6年度分までの未払い相当額など、7,030万3,000円の追加、また、新図書館建設事業に係る令和7年度から令和9年度にかけて計上した継続費について、事業費の全額を減額するもの	市長	全会一致で修正可決
	修正の動議	市議第5号の補正予算案について、新図書館建設事業の皆減に係る部分を当初予算のとおりとする修正を加える動議	議員8名*	

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
発議第1号	伊東市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正されたことに伴う所要の規定の整備を行うもの	議員8名*	全会一致で可決
発議第2号	伊東市議会傍聴規則の一部を改正する規則	全国市議会議長会による標準市議会傍聴規則の一部改正に伴う改正で、時代の経過とともに、最近では一般的に使用していない語句や、制定・改正時の社会情勢を反映した規定であることを踏まえた見直しをするもの	議員8名*	全会一致で可決
発議第3号 👉 討論	市長の学歴及び入札執行停止に係る事務調査に関する決議	特別委員会の設置は4ページをご覧ください。	議員8名*	全会一致で可決
発議第4号 👉 討論	市長に対する辞職勧告決議	決議文は4ページをご覧ください。	議員8名*	全会一致で可決
発議第5号	地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全担当）、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員8名*	全会一致で可決
発選第1号	議会改革特別委員会委員の補欠選任について	竹本力哉議員を選任	—	全会一致で選任
発選第2号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	有効投票19票のうち、堀江和雄氏17票、藤原正光氏0票、高林修氏0票、勝川志保子氏2票	—	—

*各会派代表者及び会派に所属していない議員全員からの賛同が得られた場合、議員全員の共同提出と同義となります。

本会議で行われた討論の概要

※賛成・反対ごと、登壇順に掲載。会派構成は二ページをご覧ください。

市議第五号修正案

《賛成》自由民主伊東
井戸清司議員

都市構造再編集中支援事業費補助金が含まれる本補正予算案は、今後本市のまちづくりにおいて非常に重要な予算であり、単に図書館反対だけで本事業の内容を全く理解していない市長の判断で都市整備計画ができなくなる可能性があり、駅前地区整備や、未来を担う子供たちの思いと本市の文化発展のために賛成する。

《賛成》重岡秀子議員

入札後の工事中止は違約金が発生することから迅速な入札中止は理解し、新図書館の計画変更も年度内には不可能と考えたが、補助金の対象となる開発計画は五年間有効であり早期に計画変更ができれば周辺整備への補助金活用も可能性があること、また、予算を皆減するメリットが特にな

ことから修正案に賛成する。

発議第二号

《賛成》自由民主伊東
河島紀美恵議員

このたびの詐称疑惑の検討すべき要点は、虚偽の事項を公にされたことである。また、法律的责任はないと主張され、ちら見せをした卒業証書らしき文書については明確な回答をせず、新図書館建設入札執行停止は民意と理解するが、それに伴う損失への対応等、議決に基づき調査実施をする必要があると考え賛成する。

《賛成》犬飼このり議員

誠実な対応が見られない。百条委員会では、詳細な調査をすることができ、出頭拒否や虚偽の陳述等には罰則がある。それほど重い委員会を開かなければならぬ事態を引き起こしてしまつた市長の責任は大きく、同時に今後の議会運営に向

けて議会も自身の襟を正していくべきと考え、本決議に賛成する。

発議第四号

《賛成》正風クラブ
佐藤周議員

田久保市長は議会と向き合わず、市民を愚弄し、混乱と不安に陥れ、不利益の発生源となっている。市長所信表明や記者会見での答弁の内容は、支離滅裂で一貫性がなく、論点をすり替え、印象操作に必死である。そのような市長を、市民とともに市議会は信用できないことから、本辞職勧告決議に賛成する。

《賛成》重岡秀子議員

田久保市政には過去の収賄や密約事件、市長選におけるパーティー券販売などがある中、クリーンな政治への刷新に期待したが、自身の学歴疑惑に関しては事実の解明が明快でなく不信を広げた。信頼の回復なくしては公約の実現も進められない。迅速な解明と必要

な謝罪、進退への納得できない説明を求め賛成とする。

《賛成》犬飼このり議員

人生を左右する厳しい勧告に、議会側も慎重に判断しなければならぬ。しかし、逃げることはしないと、言いながら公務をキャンセルし、議場や会見、市長と語る会での回答は、論点をすり替え他責にするばかりで、市のトップとして責任を負わないのではないか。このまま市政を任せるとはできず、決議に賛成する。

令和七年七月七日

「市長に対する辞職勧告決議」を全会一致で可決

令和七年七月二日、田久保眞紀市長は、学歴詐称疑惑をめぐむる問題について、臨時記者会見を開催した。当該会見において市長から、東洋大学法学部を除籍となっており、卒業していないことを認める発言があったが、一方で、学歴については、選挙時に公表しておらず、公職選挙法違反に

は当たらないとも強弁し、全く反省の色はなく、自己弁護に終始し、自らの招いた市政の混乱に対する責任については、一切触れることがなかった。

また、市議会六月定例会においても、特定の議員からの質問に対しては、ゆっくりとした口調で答弁を行うことで、質問時間を浪費しているようにも捉えられするなど、議員の質問権を侵害する行為が目立ったにとどまらず、答弁内容においても、質問趣旨をはぐらかし、誤解を招く答弁、答弁拒否を繰り返すなど、議会に対する態度は、誠実さを欠くといった程度では済まず、卑劣ですらある。

このように、無責任かつ卑劣な人物が市長であり続けることを市議会としては到底容認できるものではない。

よって市議会は、市長に対して、速やかに職を辞することをここに強く勧告するものである。

(決議全文を掲載)

百条委員会

(市長の学歴及び入札執行停止に係る事務調査特別委員会)

を設置

本委員会
ホームページ
はこちら



令和七年七月七日に開催された、令和七年六月定例会最終本会議において、各会派代表者及び会派に所属していない議員全員の八名により提出された、市長の学歴及び入札執行停止に係る事務調査に関する決議が可決され、地方自治法第一〇〇条の規定による事務の調査を行うための特別委員会（百条委員会）が設置されました。

●委員構成

委員長	井戸 清司議員
副委員長	佐藤 周議員
委員	村上 祥平議員
〃	竹本 力哉議員
〃	大川 勝弘議員
〃	杉本 一彦議員
〃	四宮 和彦議員
〃	犬飼このり議員
〃	重岡 秀子議員

百条委員会とは？

地方自治法第一〇〇条に基づき、議決により調査権限を委任された委員会。

地方議会が地方自治体の事務について調査を行うため、関係者の出頭、証言、記録の提出を求めることができ、正当な理由なくこれを拒否した場合、または、虚偽の陳述を行った場合には、刑事罰に処せられる可能性がある。



市議第五号

令和七年度伊東市一般会計補正予算(第一号)

に対する修正案を
全会一致で可決

【修正案の提出】

各会派代表者及び会派に所属していない議員全員の八名から提出

【修正案の趣旨】

市議第五号は、市民生活の下支えとして重要な定額減税補足給付金給付事業費など市民福祉向上に資する様々な事業の予算が計上されている一方、新図書館建設事業に係る予算の皆減が計上されており、原案のとおりに承認すると、次のとおり今後の市政に多大なる影響を及ぼすと考える。

当該事業に係る予算を皆減することは、財源となっている都市構造再編集中支援事業費補助金も当然皆減することになるが、同補助金は都市再生整備計画及び立地適正化計画に基づき交付されるものであることから、当該計画の変更を行うことで、今後計画されてい

る伊東駅前再開発事業や市長提案の旧西小学校への図書館移転等にも活用できる可能性が残っており、また、当該事業費の皆減を他事業に振り替えているわけでもないことから、同補助金を本定例会において皆減しなければ市に不利益が生じるような事情も存在しない。

このような事情に鑑みれば、本定例会での当該事業費の皆減は、年度内に同補助金を他事業に振り替えられる可能性があるにもかかわらず、市自らが活用の機会を放棄する意思表示となりかねず、今後の市政全体の財政運営に大きな悪影響を及ぼすものと考ええる。

本市の将来を見据えたまちづくりの推進及び健全な財政運営の観点から、都市再生整備計画等を適切に変更・活用し、計画実施期限の令和一一年度末までの同計画に基づく各施策の供用開始に向けた取組を着実に進めることを付言し、当該事業費の皆減に係る部分を当初予算のとおりとする。

市長所信表明

市長所信表明
全文はこちら



所信表明を述べる
田久保眞紀市長



■新図書館建設事業の中止

市長選を通じて一貫して訴えてきた、新図書館建設事業の中止については、市長就任日に中止を表明した上で、今定例会に提出した令和七年度伊東市一般会計補正予算において、新図書館建設工事請負費及び工事監理業務委託料を全額減額するとともに、令和七年度から令和九年度までの間において設定していた継続費についても削除する提案をさせていただいた。

一方、現在の図書館の状況を見ると、外壁が落下するなど、老朽化が著しく、フロア面積の狭さに起因する閲覧席などのスペースや駐車場も不足しており、蔵書冊数や貸出冊数についても、同規模の自治体と比べ見劣りする状況となっ

ていることから、いずれかの時点で拡張も含めた再整備を検討しなければならないと考えているが、しばらくは現在の図書館を活用しつつ、将来的に旧西小学校を始めとした廃校利用も含め、市民の皆様のご意見を伺う機会を設けながら、どのような整備を行うことが、コスト面も含め現実的かつ効果的であるのか、また、伊東市全体の図書館政策の再構築についても、併せて調査研究を進めていく。

■文化ホール建設

現在の観光会館の老朽化が著しいことから、多くの市民の方から、再整備を求める声を伺った。文化ホールの建設に当たっては、令和二年一二月に提出された「図書館・文化ホール建設に向けた検討会最終報告」において、伊東駅前と旧西小学校が建設候補地として挙げられており、今年度の予算において、建設地選定業務に関する委託料が計上されているが、新図書館の移転先との兼ね合いもある

ことから、今年度中に文化ホールの建設地を決定することは見送ることとし、今後、どのような文化ホールを整備するかという観点も含めた事業の在り方や進め方について再検討していく。

■宇佐美認定こども園

宇佐美認定こども園の設置について、前市長は、伊東市幼児施設連絡調整協議会の中間答申を受け、宇佐美臨海テニス場跡地への新設を白紙撤回した。私も同じ課題認識を抱いており、宇佐美臨海テニス場跡地への認定こども園の新設は考えていないが、現実的に可能な取組について、早急に検討を進め、まずは宇佐美保育園の仮移転を進めることで、子供たちの安全・安心の確保につなげていく。

■インフラ・公共施設整備

本市が管理する老朽化した道路や橋・港、水道・下水道などのインフラや、公共施設の補修・更新について、優先して取り組むべき事項であると考えており、国県の予算等の活用も図る

中で、必要な点検を行い修繕を計画的に進めるとともに、施設の複合化についても調査研究を進めていく。

■公共交通体系の充実

公共交通体系の充実については、交通事業者の経営に負担をかけず、既存の交通網となじむ形での、新たな交通サービスの導入が求められていると考えることから、コミュニティバスや乗合タクシーなど、他の自治体での導入事例を参考にしつつ、デジタル技術の活用なども含め、本市にふさわしい交通手段の導入を目指していく。

私たちのまちに本当に必要なものは何か。常に市民目線を忘れず、初心を決して曲げることなく、一方で皆様の声にしっかりと耳を傾けながら、即断即決し、行動力を発揮して、伊東のまちが真の意味で活力のあるまちに再生を果たすため、市民の皆様との協働により、誠心誠意、市政運営に努めてまいりる所存である。

市長所信表明に対する質問

会派及び会派に所属していない議員から8議員が質問しました

(文面の掲載量は各会派の人数に応じており、質問順に掲載しています。会派構成は12ページをご覧ください。)



質問要旨はこちら



正風クラブ
(佐藤周議員)



公約に掲げている伊豆高原メガソーラー計画の白紙撤回とは、どのような目標地点を設定した上で述べているのか伺う

市長

ソーラーパネル設置等による売電事業そのものを事業者が断念し、当該計画地の保全に加え、地元住民の安全・安心な暮らしの確保と水環境の保全等が図られることを目標地点としている

伊豆高原メガソーラー計画については、私が市議会議員になる以前から、計画反対の立場として関わってきた経過がある。

私が掲げる伊豆高原メガソーラー計画の白紙撤回とは、当該計画地でのソーラーパネル設置等による売電事業そのものを事業者が断

念し、当該計画地の保全に加え、地元住民の安全・安心な暮らしの確保と八幡野川や八幡野漁港などの水環境の保全等が図られることを目標地点としている。

市長は、現在も伊豆高原メガソーラー訴訟を支援する会の代表を務めているのか伺う

市長

伊東市長選挙当選後に会の代表を辞している

伊豆高原メガソーラー訴訟を支援する会の代表については、伊東市長選挙当選後の令和七年五月二十七日をもって会の代表を辞している。

小・中学校の給食費無償化について今後の方針を伺う

市長

継続的な給食費無償化の実現について前向きに検討していく

小・中学校の給食費無償化事業については、本年度本市独自の施策として国に先んじて実施しているが、保護者からの好意的な評価や学校からも継続を要望するご意見を頂いている。

本年度の財源は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しており、国は令和八年度から小学校の給食費無償化を実施する方針を示していたが、詳細についてはいまだ示されていないので、今後も国の動向を注視しつつ、物価高騰の中でも質や量を落とすことなく安全・安心に栄養ある給食を提供することを基本に、継続的な給食費無償化の実現について前向きに検討していく。

対島地区については、「令和一二年度末までに学校環境を整備し、令和一三年度四月から対島中学校を含めた小中一貫校とする」とを検討し、「小中一貫校とする場合は、旧城ヶ崎分校を適正地」とする」として伺う。

市長

小中一貫校については広く地域の皆様のご意見を伺う中で慎重に判断し、旧城ヶ崎分校の取得については幅広い活用方法を見込み検討を重ねていく

対島地区については、令和一三年度四月から対島中学校を含めた小中一貫校とすることを提案し、地区説明会を実施しているが、複数地区に及ぶ内容であり、地域がどのようなまちづくりを進めどのような未来を描いていきたいかということに直結するものと考えられることから、広く地域の皆様のご意見を伺う中で慎重に判断していく。

また、小中一貫校の適正地として旧城ヶ崎分校については、市南部地区に広がる本市の市立学校が持ち合わせていないとまとめた面積が魅力であり、対島地区の小中一貫校の適正地を含め幅広い活用方法が見込まれることから、取得については検討を重ねていく。

「通学に係る家庭での負担軽減及び送迎場所の確保」のために、「学校周辺に送迎場所を確保するよう努める」とことについて伺う

市長

学校再編においては、学校への車による送迎も検討材料に加えながら、敷地内外の送迎場所の確保について検討していく

通学手段については、徒歩や公共交通機関による通学を原則としているが、昨今の車社会の中では、保護者による車を使用した送迎が各学校で多くなっている状況であると認識している。学校敷地内には保護者用の送迎場所がないため、学校敷地外の許可地の利用や徒歩による通学を呼びかけているところであるが、様々なトラブルが発生することもあることから、学校再編においては、学校への車による送迎も検討材料に加えながら、敷地内外の送迎場所の確保について検

討していく。

『その他の質問』一〇項目



自由民主 伊東 士郎
(井戸清司議員)



災害対策、経済対策及び観光施策は本市の最重要課題と考えるが、所信表明において言及されていないため、市長の考えを伺う

市長

現状と課題の把握や必要な調査を行い、事業の優先順位をつけて実行していく

所信表明において、市政のかじ取りを担う責任を感じるとともに、このまちの未来を市民の皆様とともに築き上げ、「すべては市民の為に、市民の為に市政の実現を」という理念を具現化するに当たっての決意の一端として、新図書館建設事業の中止や文化ホール建設地決定の見送り等につい

て述べた。

本市が真の意味で活力あるまちに再生を果たすため、災害対策、経済対策及び観光施策についても現状と課題の把握や必要な調査を行い、事業の優先順位をつけた上で市民の声に耳を傾けながら、一つ一つ実行していく。

老朽化した道路等のインフラや公共施設の補修・更新を計画的に進めるとあるが、計画は策定済みであり計画に沿って実施していると考えられることから、どのような施設を複合化する考えか伺う

市長

地域の需要のバランスなどを踏まえつつ、施設の総量適正化に向け検討する

施設の複合化については、今後、市民生活に支障が生じないよう本市の現状を踏まえ複合化していくものとし、長期的な視点から公共施設全体の管理運営を着実に進めていく。対象とする

施設については、市民から意見を頂く中で、地域の需要のバランスなども踏まえつつ、施設の総量適正化に向け検討を進める。

宇佐美認定こども園について、どのような優先順位に位置づけ整備していくか伺うとともに、最適な場所があると考えているか伺う

市長

宇佐美保育園舎の耐震性への対応が最優先であると考え、まずは保育園の機能移転について早急に対応したい

現時点において、宇佐美認定こども園以上に、宇佐美保育園舎の耐震性への対応が最優先であると考え、ことから、保育園の機能移転について早急に実現可能な対応策を見いだしていきたい、その上で、宇佐美認定こども園については、津波被害想定区域や土砂災害警戒区域ではない候補地を探していく。

候補地として挙げられてきた宇佐美幼稚園宮川分園の敷地や宇佐美中学校校舎についても、宇佐美地区の学校統合の進捗状況を視野に入れ、広く検討を進める。

福祉政策について、現在本市では包括的支援体制の整備を進めていると思料ですが、「重層的支援体制へと更に充実」させていく内容とはどのようなものか伺う

市長

各支援関係機関との連携等をさらに強化するため、重層的支援体制整備事業の活用も検討し、包括的支援体制をより充実させる

包括的な支援体制の構築に向け、住民から寄せられる複合・複雑化した相談に対応するため庁内各課や各支援関係機関と連携を図る中で課題を整理し、適切な支援へつなぐ体制の構築に取り組んでおり、連携強化のための協議の場を設けるほか、生活保護法等を根拠

とする支援会議なども設置している。今後、情報共有や各支援関係機関との連携をさらに強化するため重層的支援体制整備事業の調査・研究を行い、包括的な支援体制を充実させたい。

伊東駅前広場について、市民や専門家の意見聴取により計画を見直すところがあるが、どのようなスケジュールで新設・整備を図るか伺う

市長

今年度末を目途に伊東駅前整備事業の都市計画決定を行う

伊東駅前広場については、平成二三年から伊東駅前広場整備検討委員会で検討を進め、令和五年一月に伊東駅前広場整備計画(案)を公表し、パブリックコメント等で多くの意見をいただき、令和六年度に修正案を取りまとめた。

今後は、八月に住民説明会を開催し、修正案の説明を行った後、今年度末を目

途に伊東駅前整備事業の都市計画決定を行う。

現地の整備については、公安委員会や鉄道事業者等との調整後、用地取得が完了した箇所から順次進める予定である。

『その他の質問』 九項目



公明党
市議会議員(篠原峰子)



新図書館建設中止に当たり、これまでに提出された市民の声や子供たちの意見をどのように捉えているか伺う

市長

率直な意見を頂いたものと承知しており、改めて市民の皆様や子供たちの意見を伺い、図書館の全体像を考えていく

新図書館建設に当たり、中・高生一六人、一般公募一九人の方に参加いただいた市民ワークショップの実

施や再設計に向けたアンケートでの回答など、頂いた意見に対応できるよう検討を進めてきたものと認識しており、伊東の未来を担う子供たちからも新図書館建設に向けて率直な意見を多数頂いたものと承知している。

現在の本市に必要な図書館とは何かを考えるため新図書館建設の中止を判断したが、図書館が必要な施設であることに変わりはなく、改めて市民の皆様や子供たちの意見を伺った上で、本市にふさわしい図書館の全体像を考えていく。

所信表明で経済対策を述べなかつた理由を伺うとともに、経済対策に代わる施策を検討しているか伺う

市長

課題を克服し経済に強いまちとして活力を取り戻すことが重要であると判断しており、最適な経済対策を検討しつつ、持続可能な魅力ある観光地づくりに努める

所信表明で経済対策を述べなかつた理由については、本市の経済状況は物価高騰や宿泊施設をはじめとする労働力不足、米国の関税措置による世界経済の影響などを受け、さらに不透明感を増すものと認識しており、まずは本市の現状の再確認と課題の洗い出し等を行い、課題を克服し、本市が経済に強いまちとして活力を取り戻すことが重要であると判断したためである。

今後、多様化する来遊客のニーズや市内経済の動向を的確に把握するとともに、これまでの事業効果を検証し課題を把握する中で、最適な経済対策、物価高騰対策を検討しつつ、持続可能な魅力ある観光地づくりに努めていきたいと考える。

宇佐美認定こども園の整備について、具体的な計画及びスケジュールを伺う

市長

保育園の機能移転を最優先に考え、条件の洗い出しを

進めており、移転の方向性が固まり次第、スピード感を持って対応する

宇佐美認定こども園の整備について、宇佐美臨海テニス場跡地への建設計画を見直し、いくつかの設置場所案を示しながら保護者や地域の方の意見を伺う中で進めたいと考えるが、宇佐美保育園園舎の耐震性への対応が早急な課題と認識しており、まずは保育園機能の移転を最優先に進めることを考えている。移転先について、運営に必要な保育面積の確保や給食施設の整備など移転条件の洗い出しを進めており、関係機関や保護者の意向を伺いながら、実現可能な対応策を見いだしていきたい。移転の実現に向けては、宇佐美幼稚園と宇佐美保育園を統合した上で認定こども園とする可能性も視野に入れ、宇佐美保育園の園児の安全確保を図っていく。今後、移転の方向性が固まり次第、改修等の経費について、令和八

年度当初あるいは補正予算の計上も視野に、スピード感を持って対応する。
『その他の質問』一二項目



伊東未来
すぎもとまさひろ
(杉本一彦議員)



市政運営のかじ取りをし、政策を実現するためには議会との信頼関係が必要不可欠であると考えているが、今後、議会と向き合っていくことについて、どのように考えているか伺う

市長

議会と議論を重ねながら市の発展に尽力しなければならぬと考えている

市長と市議会は二元代表制であり、相互に信頼関係を前提とした議論を重ねつつ、一方で、牽制・抑制や均衡によって市長と議会が緊張関係を一定程度保ち続けることが求められている

ものと認識している。
今後、議会と向き合っていくことについて、どのように考えているかについて、所信表明で申し述べたとおり、市長と議会とが議論を重ねながら市の発展に尽力しなければならぬと考えており、議員各位においても、市政に関するご提案を私に積極的にお寄せいただき、共に市政の課題解決に向け、取り組んでいきたいと考えている。

選挙期間中には市内経済の再興を掲げていたものの、所信表明では具体策が明言されなかつたが、即効性を重視した短期的な経済対策の実施について、どのように考えているか伺う

市長

これまで実施してきた事業効果を検証し課題を明らかにする中でどのような経済対策・物価高騰対策が最適であるか検討していきたい

現在の市民生活の状況に

ついては、物価高騰の影響を受け、依然厳しい状況が続いていることは認識しており、プレミアム付商品券事業等の短期的な経済対策についても、即効性の高い経済対策・物価高騰対策の一つとして一時的には効果が期待できると認識しているが、継続的な効果を生むために本市にとって本当に必要な施策を見定めていくため、現状の再確認と課題の洗い出し等が必要である。
今後については、地域経済の動向や市民生活への影響を注視するとともに、これまで経済対策・物価高騰対策として実施してきた事業の効果を検証し、課題を明らかにする中で、どのような経済対策・物価高騰対策が最適であるのか検討していきたいと考えている。

伊東市立伊東図書館についてどのようなスケジュールにより新設・更新を図っていくか伺う

市長

今年度中に新図書館の代替案を示し、今後設置予定の図書館協議会において令和八年度から議論していく

伊東市立伊東図書館は、老朽化に伴う雨漏りや漏電による停電のほか、外壁の一部が崩落したことも踏まえ、現状では長期的な活用は見込めないものの、今後、代替案の実現までの間、必要な修繕を実施した上で、運営を継続していく。

また、新図書館の代替案については、今後、旧西小学校の活用を念頭に、生涯学習センター中央会館の長寿命化や新築も含め、実現可能性や費用等について調査し、今年度中に代替案をお示しするとともに、それに対する市民の皆様の声を伺った上で、今後設置を予定する図書館協議会において、令和八年度から議論を開始し、建設費やランニングコストも含め、市民の皆様から理解が得られる新図書館像を見出していきたい

と考えている。

『その他の質問』 四項目



政和会
すざもとかずや
(杉本憲也議員)



本市のグランドデザインに
関し、今後の本市の中心市
街地はどこを考えるか伺う
とともに、用途地域見直し
の必要性を伺う

市長

今後の中心市街地の位置づけについては、都市形成の在り方について市民との合意形成を図った上で示すとともに、社会情勢を見据えた用途地域の見直しを行う必要があると認識している

現在の伊東市立地適正化計画において、都市拠点として位置づけている地域は伊東駅周辺の市街地である。今後、本市のグランドデザインを考える上での中心市街地の位置づけについては、

伊東市立地適正化計画などで目指してきた都市形成の在り方を市民の皆様から伺い、本市のまちづくりにおける中心市街地が担うべき機能等を検討し、合意形成を図った上で示したいと考えている。

用途地域の見直しの必要性については、現況の人口動態や土地利用など都市構造が年々変化しており、次世代に向けた持続可能な行財政運営と、市内経済の好循環を促進する観点から、各拠点が担っていくべき機能を検討した上で、本市における未来の社会情勢を見据えた見直しを行う必要があると認識している。

伊東市民病院の経営状況を公表する考えはあるか、市長の見解を伺う

市長

公益社団法人地域医療振興協会において協会全体の財務情報の公表しており、医療機関ごとの公表はしていないことから、改めて協

力をお願いしていく

伊東市民病院の経営収支状況については、指定管理者である公益社団法人地域医療振興協会において、伊東市民病院も含めた協会全体の財務状況を公表している。個々の医療機関が支障なく運営できるよう協会全体として対応しており、個々の財務情報を公表することで医療従事者の引き抜きが行われる懸念等、病院事業に不可欠な人員確保に支障を及ぼしかねないことから、公表には慎重な対応が必要であると伺っている。今後、改めて協力をお願いしていきたいと考えている。

『その他の質問』 九項目



会派に所属していない
しほかひでこ
(重岡秀子議員)



不登校対策及び学校統廃合の教育問題に対し具体的にどのように取り組むか伺う

市長

保護者や地域の皆様の意見に耳を傾け、対話を重ねる中で、適切な方向性を定めていく

不登校対策については、子供の心情や生活実態、保護者の意向を十分に把握し個別最適な対応を検討する必要があり、スクールソーシャルワーカー等が関わることできめ細かい対応が可能になると考えることから、より専門性の高い人材を確保する方策を含め、小・中学校への派遣を検討する。学校の統廃合については、伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（後期方針）（案）を基に、各地域で説明会を実施している。

地域の皆様が学校の在り方を決め実現に向けて取り組む中で、行政が支えていく姿が理想と考えることから、適切な方向性を定めていく。

『その他の質問』 三項目



会派に所属していない
いぬかい
(犬飼このり議員)



情報が行き渡らない市民への情報保障についての考えを伺うとともに、意見聴取の具体的な方策及び聴取した意見をどのように政策に反映するか伺う

市長

様々な選択肢を準備することが重要であると考え、手段の多様化を図り、聴取した意見は担当課と共有・協議し市政の参考とする

情報保障と意見聴取の方法については、誰もが利用しやすい手段を選べるようデジタル技術の活用を含め様々な選択肢を準備することが重要と考え、市長と語る会において、インターネット環境の整っている会場ではライブ配信を予定しており、チャットを利用することで広く意見を伺えること

考える。

聴取した意見については、担当課と共有・協議する中で、緊急を要するものは迅速に対応し、予算措置が必要な事業は優先度を見極める中で事業化を図るほか、市政の参考としていく。

『その他の質問』 二項目



会派に所属していない
あさだよしひろ
(浅田良弘議員)



市民と行政、地元の民間企業との連携等によるまちづくりの計画について伺う

市長

広範な市民の方からの意見を伺いながら策定を進める

第五次伊東市総合計画の後期計画については、令和六年度から継続して策定作業を進めており、意見聴取の取組として、市民満足度調査や市内の中・高校生アンケートに加え、前市長が実

施していた未来ビジョン会議での施策提案を受けるとともに、新たに、本市の政策参与である陳内氏からのアドバイスを受け、計画策定の参考としている。

今後は、庁内での後期計画案の検討の後、市議会議員や公共的団体等の役員、市内交通事業者、学識経験者などを委員とする総合計画審議会へ諮問し、答申をいただく中でパブリックコメントを行うとともに、三常任委員会協議会への報告を予定しており、各段階における様々な意見を反映し、計画を決定していく。

『その他の質問』 六項目

全国市議会議長会議員表彰

全国市議会議長会より、永年勤続の表彰を受けた議員に対し、六月定例会においてその伝達を行いました。

二〇年以上勤続

浅田 良弘 議員

●議員の辞職

五月一八日、田久保眞紀議員が自動失職しました。

諏訪・伊東姉妹都市議会
議員交歓研修会

諏訪市議会と伊東市議会とは、昭和四三年二月五日の第一回交歓研修会以来、四年に一度ずつお互いの市を訪問し、交歓研修会を行っています。

七月八、九日の二日間、長野県諏訪市にて第二九回姉妹都市交歓研修会を行いました。

高原湖畔都市を目指したコンパクトシティへの取組についての講演があり、両市議による意見交換等を行ったほか、市内施設を視察しました。



閉会中の議会活動

令和7年3月定例会閉会から
令和7年6月定例会開会まで

- 3月24日 常任福祉文教委員会協議会
- 4月 4日 常任福祉文教委員会協議会
- 4月10日 議会 ICT 化検討会議
- 4月21日 議会改革特別委員会
- 4月23日 常任観光建設委員会協議会
- 4月25日 議会報編集委員会
- 4月28日 常任総務委員会協議会
- 5月15日 議会 ICT 化検討会議
- 5月29日 議会改革特別委員会
- 6月10日 議会運営委員会



9月定例会

9月1日(月)開会予定

※日程等は、8月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。
詳細は市議会ホームページにてご確認ください。

委員会だより

〔常任委員会及び予算・決算特別委員会
分科会審査の中から、一部を抜粋〕
ホームページにおいて、要点記録を公開して
います。



要点記録は
こちら

総務 委員会・分科会

問 新図書館建設計画は、入札の執行停止により市長の選挙公約は達成しており、早急に当該計画に係る補助金等を減額する必要性は低いと考えるが、今定例会で減額する理由を伺う。

答 選挙公約に新図書館建設計画の中止を掲げていたことから、入札の執行停止にとどまらず減額補正を行い、今後、代替案を策定する際に、新たに予算計上して議会で審議いただくことが適切と判断したためである。



昭和55年に設置された伊東図書館

観光建設 委員会・分科会

問 条例改正により利用料金制が導入されるが、市として、東海館をどのように位置づけているか伺う。

答 令和八年四月一日から入館料等が改定されるが、持続的な保全を図ることで、本市の数ある資源の中でも貴重な建物を、松川にたたずむ伊東温泉のシンボルとして将来にわたり保存していくとともに、展示物の充実等によりさらなる高付加価値化を図りたい。



温泉情緒が残る観光・文化施設「東海館」

福祉文教 委員会・分科会

問 新図書館建設事業の計画変更と再申請では、補助金の交付を受ける上でどちらが有利なのか伺う。

答 計画変更の方が有利であるが、代替施設の決定や国土の協議等を含めて、残り期間で設計から開館まで行うのは時間的に厳しい。新規申請は可能だが、補助を希望する自治体の増加や建物の省エネルギー性能の向上等、ルールやハードルも上がり、再認定の可否と補助額への懸念が残る。

議会報編集委員会

委員長	杉本 憲也
副委員長	大川 勝弘
委員	村上 祥平
〃	河島紀美恵
〃	竹本 力哉

市議会内の会派構成

(令和七年八月一日現在)

■正風クラブ

- 村上 祥平 議員
- 鈴木 絢子 議員
- ◎佐藤 周 議員
- 宮崎 雅薫 議員

■自由民主 伊東

- 虫明 弘雄 議員
- 河島紀美恵 議員
- 中島 弘道 議員
- ◎井戸 清司 議員

■公明党

- ◎長沢 正 議員
- 竹本 力哉 議員
- 篠原 峰子 議員

■伊東未来

- 青木 敬博 議員
- ◎大川 勝弘 議員
- 杉本 一彦 議員

■政和会

- ◎四宮 和彦 議員
- 杉本 憲也 議員

■会派に所属していない

- 犬飼このり 議員
- 重岡 秀子 議員
- 浅田 良弘 議員

(◎) 会派代表者、
会派構成議員は議席順)

※議員の自動失職により欠員が一名生じています。

編集後記

国道を南下すると左手にぼっかり浮かぶ手石島。名前の由来どおり、握り拳のようにも鯨や亀のようにも見えるその島は無人数で、汐吹崎からは七〇〇メートル程しか離れていません。昔は泳いで渡る猛者もいたようですが、今は上陸には許可が必要です。航海の安全を祈願する弁財天様が祭られ、釣りやダイビングの絶好のスポットでもあります。まさに伊東の守り神のような存在です。(大川勝弘)

六月定例会を終えて

伊東市議会議長談話

さきの六月定例会では、補正予算の修正や市政初の百条委員会設置等これまでにない議会運営でしたが、今後も市民の皆様の安心・安全な暮らしを支える市政実現に向け、前例にとらわれず、議会一丸となり市政のチェック機能を果たしてまいります。